

市立幼児教育・保育施設の今後のあり方 検討に係る現状と課題について

令和2年12月21日 第3回子ども・子育て支援会議資料

目次

1. 市立幼児教育・保育施設のあり方検討の背景
 2. 幼児教育・保育の現状
 3. 袖ヶ浦市の人口及び財政状況
 4. 保育施設の整備計画及び費用負担
 5. 幼児教育・保育施設に関する課題
 6. 幼児教育・保育に関する基本的な考え方 ※検討中
 7. 市立幼児教育・保育施設のあり方に関する方針 ※検討中
- (参考) 今後の取組の進め方

1. 市立幼児教育・保育施設のあり方検討 の背景

(1)はじめに

本市では、保育所入所待ち児童の増加や市立幼稚園児童の減少、多様な保育ニーズへの対応などの課題に取り組むため、平成28年3月に「袖ヶ浦市の幼児教育・保育の取組みについて」を策定し、市立幼稚園の1園化や、幼保連携型認定こども園の誘致などの施策を進めてきた。

その後も袖ヶ浦駅海側地区への子育て世代の転入や、幼児教育・保育の無償化などにより、保育ニーズが増加・多様化している一方で、主として昭和50年代に建設された市立幼保施設の多くは老朽化が進み、計画的な大規模改修や更新が必要となっている。

更に、本市の財政状況は近年厳しさを増していることから、今後も幼児教育及び保育サービスの水準を維持していくためには、市立幼保施設のあり方について見直すことが不可欠である。

このような状況を踏まえ、将来にわたって質の高い幼児教育及び保育サービスの提供を維持するため、既存施設の管理運用体制について見直しを行い、今後のあり方に関する基本方針を定めるものである。

(2) 袖ヶ浦市総合計画〔前期基本計画〕（令和2年6月策定）

「子育て支援」の分野における目指すまちの姿

- 次代を担う子どもたちが、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培うため、等しく幼児期の教育・保育を受けることができる環境が整えられています。

「子育て支援」の分野における施策の方向性（抜粋）

- 幼稚園、保育所、認定こども園における共通の教育指針として定めた「幼児教育カリキュラム」を積極的に活用することにより、さらに質の高い幼児教育・保育を提供するとともに、小学校への滑らかな接続を推進していきます。
- 質と量の両面で十分な保育サービスの提供を推進します。

(3) 袖ヶ浦市第7次行政改革大綱（令和2年3月策定）

市立保育所・幼稚園のあり方の検討

- 現状の人口分布や将来推計、また施設の管理運営状況等をも考慮した将来的展望を検討し、計画的な対応を実施していくことで、多様なニーズに応える保育サービスを継続的に提供することが可能となり、未来を見据えた子育て環境の構築が実現できる。

市立保育所・幼稚園の運用体制の検討

- 今後の適切な幼児教育・保育サービスの提供と供給体制の確保のため、公立の幼児教育及び保育施設のあり方について、庁内、保護者、市民及び関係機関から意見を聴取しながら検討を進める。

2. 幼児教育・保育の現状

(1)市内の幼児教育・保育施設

	昭和	長浦	根形	平川
市立幼稚園				1
私立幼稚園		2		
市立保育所	1	1	1	2
私立保育所	3	3		
私立小規模	2	1		
私立こども園	1			
家庭的保育	1			
事業所内保育		1		



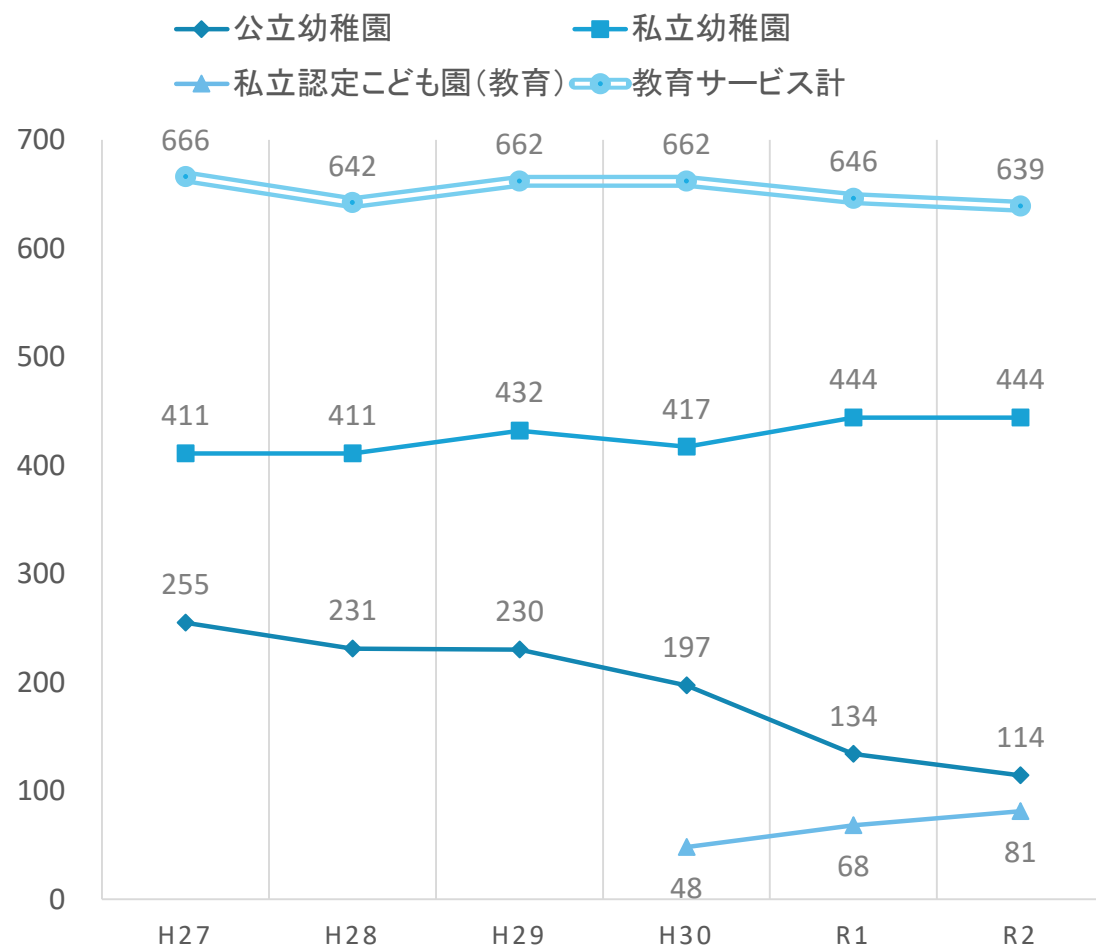
(2)-①未就学児童数及び市内教育・保育施設入所児童数の推移

- 未就学児(0～5歳児)の数は、袖ヶ浦駅海側地区における子育て世代の転入などにより増加し続けている。
- 平成27年度から令和2年の6年間で、教育施設の入所児童数はほぼ横ばいである一方、保育施設の入所児童数は約1.4倍の増となっている。

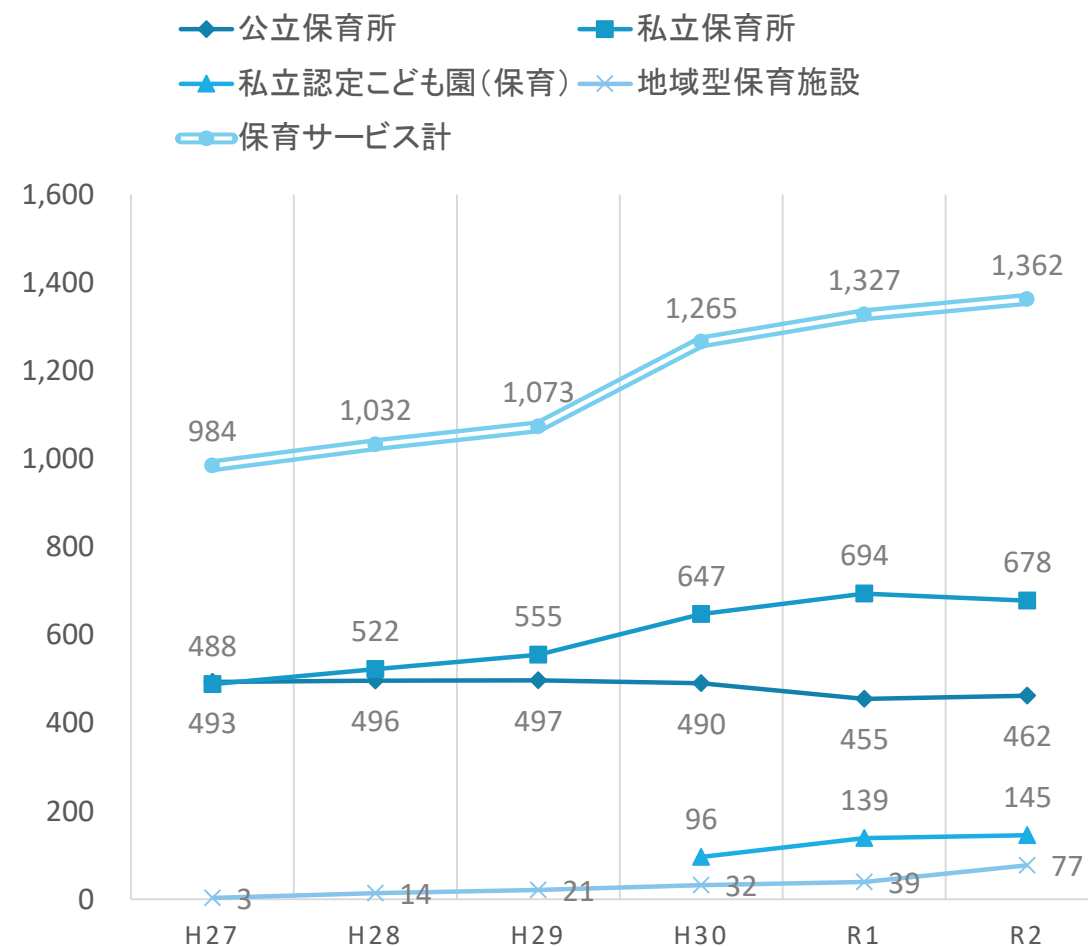
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
未就学児童数	3,158	3,220	3,227	3,407	3,477	3,540
市内教育施設 入所児童数	666	642	662	660	646	639
市内保育施設 入所児童数	984	1,032	1,073	1,265	1,327	1,362

(2)-②未就学児童数及び市内教育・保育施設入所児童数の推移

市内教育施設入所児童数(5/1)



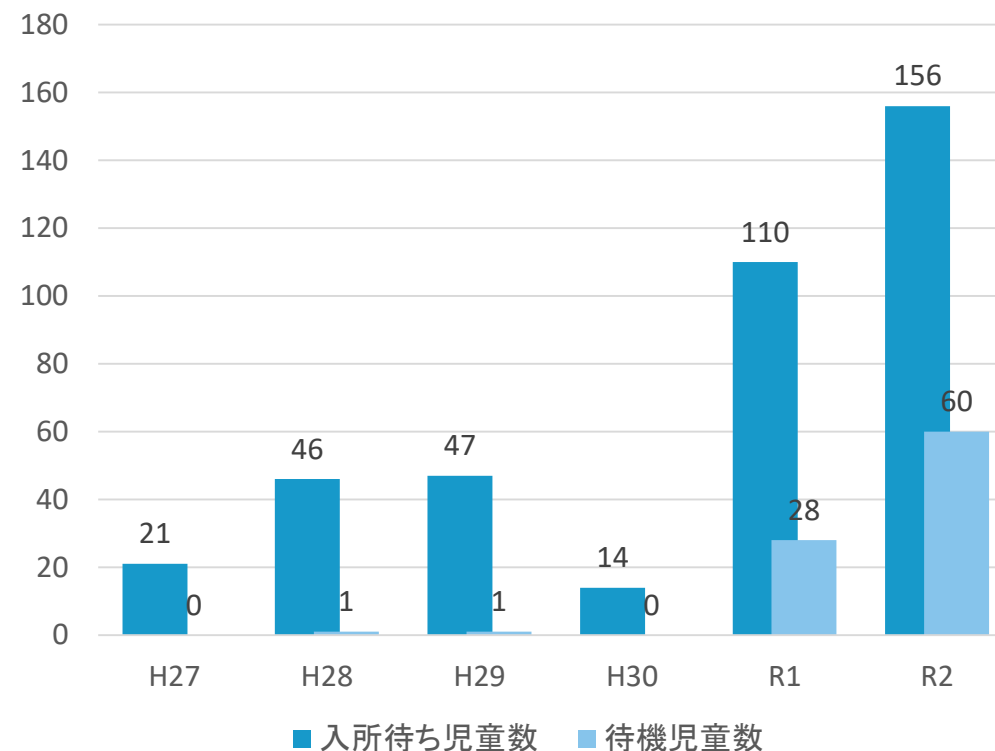
市内保育施設入所児童数(4/1)



(3) 保育所入所待ち児童数及び待機児童数の推移

- 保育所入所待ち児童数は平成30年度後半より急増し、令和2年4月には156人となっている。
- 国基準の待機児童数についても、平成30年度までは0～1人で推移していたが、令和元年度には28人、令和2年度には60人まで増加している。

入所待ち・待機児童数(4/1)



(4)市立保育所及び幼稚園の入所状況

※上段は入所者数、下段は入所率

保育所4/1・幼稚園5/1		定員	H27	H28	H29	H30	R1	R2
保 育 所	福王台保育所	120	123	126	121	120	114	120
			102.5%	105.0%	100.8%	100.0%	95.0%	100.0%
	久保田保育所	120	114	126	128	119	106	114
			95.0%	105.0%	106.7%	99.2%	88.3%	95.0%
	根形保育所	120	109	101	106	107	93	88
			90.8%	84.2%	88.3%	89.2%	77.5%	73.3%
幼 稚 園	平川保育所	90	73	70	67	66	70	69
			81.1%	77.8%	74.4%	73.3%	77.8%	76.7%
	吉野田保育所	90	74	73	75	78	72	71
			82.2%	81.1%	83.3%	86.7%	80.0%	78.9%
	今井幼稚園	210	175	157	153	126		
			83.3%	74.8%	72.9%	60.0%		
	中川幼稚園	210	80	74	77	71	134	114
			38.1%	35.2%	36.7%	33.8%	63.8%	54.3%

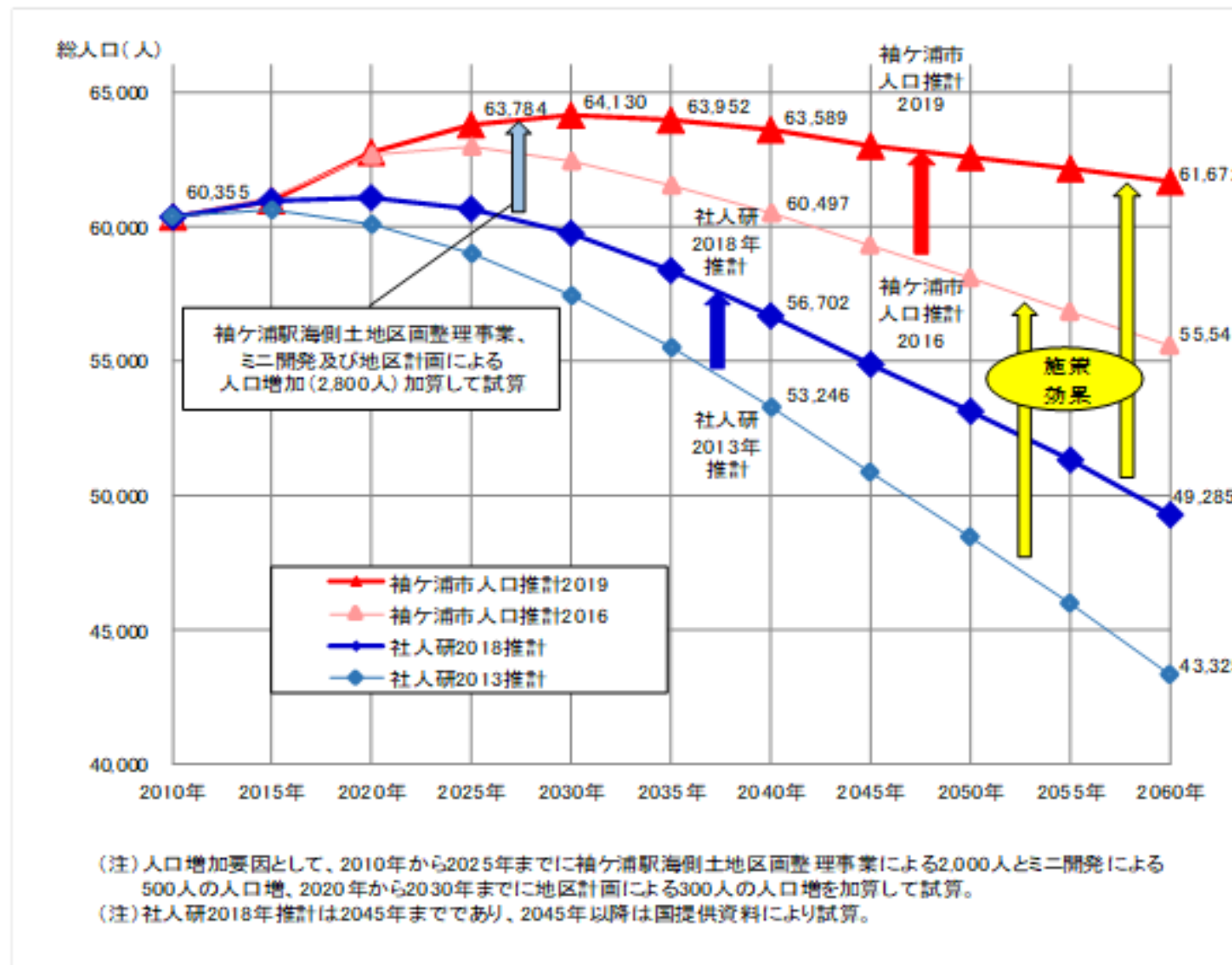
(5) 保育所等施設長寿命化計画(令和2年3月策定)等に基づく施設の現況

施設名		構造	建築年	延床面積	児童数(R2)		耐震基準	耐震補強	更新等の目安
				(㎡)	定員	4/1在籍			
保育所	福王台保育所	木造	S51	988	120	120	旧	済	20年後
	久保田保育所	木造	S52	997	120	114	旧	済	20年後
	根形保育所	S	S58	1,145	120	88	新	—	20年後
	平川保育所	RC	H6	951	90	69	新	—	15年後
	吉野田保育所	木造	S51	943	90	71	旧	未	—
幼稚園	中川幼稚園	S	S53	984	210	114	旧	済	—

3. 袖ヶ浦市の人口及び財政状況

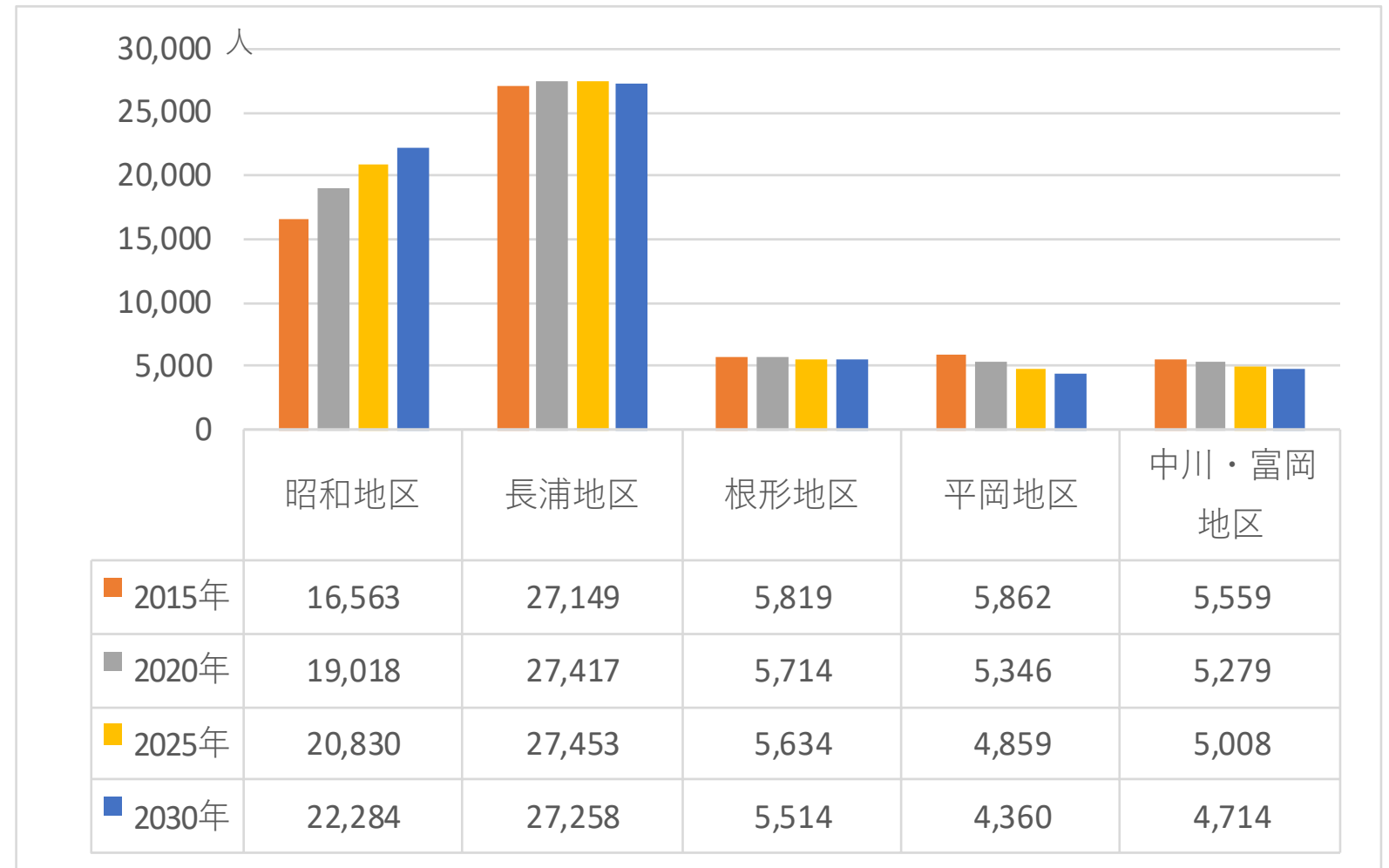
(1) 総人口の推計(人口ビジョン2019より)

- 袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業の進展などにより、近年当市の人口は増加を続けているもののピークを迎えつつあり、将来的に人口の減少は避けられないと見込まれる。



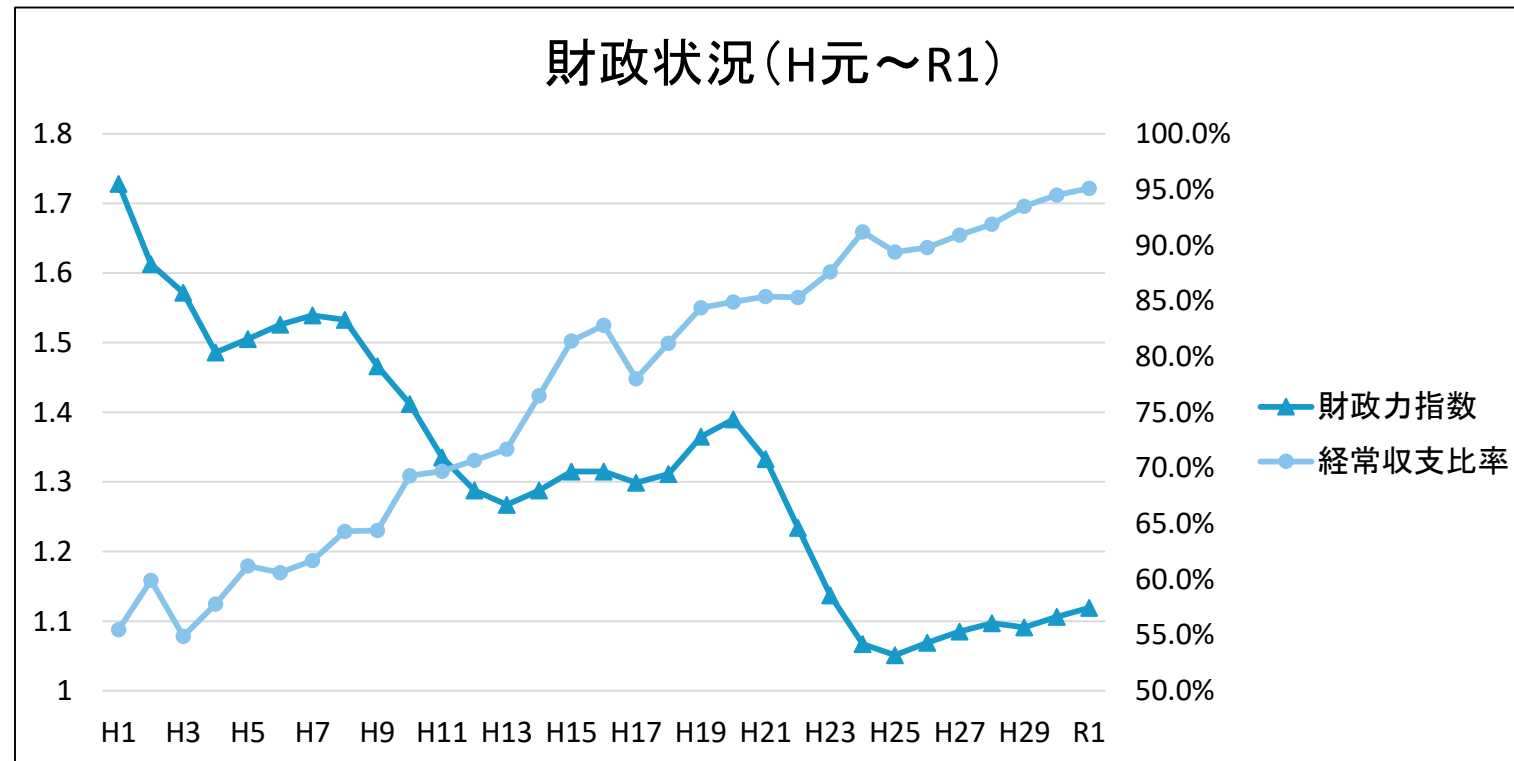
(2)地区別人口

- 袖ヶ浦駅海側地区を含む昭和地区では人口増が見込まれる。
- 内陸の平岡地区や中川・富岡地区では人口減少が続くと推計されている。



(3) 財政状況

- 平成元年度には1.728であった財政力指数は令和元年度には1.119まで下がっている。
- 経常収支比率は平成元年度から令和元年度までの間に55.5%から95.1%まで上昇し、新規事業に投資できる財源が極めて少ない状況となっている。



4. 保育施設の整備計画及び費用負担

(1) 子育て応援プラン(第2期)に基づく整備計画

- 令和2年3月に「袖ヶ浦市子育て応援プラン(第2期)」を策定した際、計画期間(令和2年度～令和6年度)に必要な教育及び保育の量の見込みと、それに対応する定員の確保方策を定めている。
- 令和2年度当初時点で1,412人の保育定員を、令和6年度には1,886人まで拡大することとした。

区分	実績(4/1)						計画(4/1)			
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
児童数	3,158	3,220	3,227	3,407	3,477	3,540	3,482	3,432	3,415	3,369
申込者数(保育ニーズ)①	980	1,044	1,130	1,288	1,459	1,563	1,657	1,659	1,675	1,678
市立保育所	540	540	540	540	540	540	540	540	540	540
私立保育園	460	460	490	580	580	640	716	946	946	1,076
認定こども園	0	0	0	150	150	150	150	150	150	150
地域型保育	5	5	24	44	44	82	101	120	120	120
合計②	1,005	1,005	1,054	1,314	1,314	1,412	1,507	1,756	1,756	1,886
②－①	25	-39	-76	26	-145	-151	-150	97	81	208

(2) 保育施設の整備等に係る国及び市の費用負担

- 民間事業者が保育施設を整備する場合には、国から整備費用の $\frac{1}{2}$ ・市から $\frac{1}{4}$ 相当額の補助金が交付されるが、市が自ら保育施設を整備する場合は全額市の負担となる。
- 民間事業者が老朽化した保育施設を改修する場合も、同様に国と市から補助金が交付されるが、公立の施設を改修する場合は全額市の負担となる。
- 公設民営(指定管理等)の場合も公設公営の施設と同様の扱いとなる。

施設整備（認可保育所等）に係る費用負担

公立	全 額 市 負 担		
私立	事業者 1 / 4	国 1 / 2 ※	市 1 / 4

※一定の基準を満たすと国の負担割合が
かさ上げされ、国 $\frac{2}{3}$ ・市 $\frac{1}{12}$ の負担となる

(3) 保育所の運営に係る国・県・市の費用負担

- 私立の認可保育所や小規模保育事業の運営費は国が1/2・県が1/4・市が1/4を負担するが、公立保育所の場合は全額市の負担となる。
- 令和元年10月より3歳以上の児童等の保育料が無償化されたが、無償化に係る費用負担についても、私立は国1/2・県1/4・市1/4であるのに対し、公立は全額市の負担となる。

施設型給付（認可保育所等）に係る費用負担

公立	保育料 ※2	全 額 市 負 担 ※1		
----	-----------	--------------	--	--

※1：普通交付税で措置されているが、袖ヶ浦市は不交付団体のため全額市の負担

私立	保育料 ※2	国 1 / 2	県 1 / 4	市 1 / 4
----	-----------	------------	------------	------------

※2：3歳以上又は住民税非課税世帯の0～2歳児の保育料は無償化（公立・私立）

5. 幼児教育・保育施設に関する課題

(1) 市全体の課題

- 保育ニーズの急増に伴う待機児童を解消するため、民間事業者による施設整備が進む一方で、現状、公立保育所の中には保育士不足等により定員一杯まで預かることができない施設が存在する。
- 保育サービス受給者の増加により、給付費が増大し続けていることから、限られた財源をより効果的に投入する必要がある。
- 公共施設の多くが今後大規模改修や改築の時期を迎えるが、財政の硬直化が進むなかで、施設の更新に必要な経費が確保できないおそれがある。
- 市立幼稚園の入所児童数が定員を大きく下回っている状況を踏まえ、今後のあり方について検討する必要がある。



(2) 臨海部(昭和地区・長浦地区)の課題

- 袖ヶ浦駅海側地区等の保育ニーズ急増に伴う待機児童の解消が喫緊の課題である。
- 新たに整備された保育施設が袖ヶ浦駅近辺に集中しているため、今後の人口動向を見据えた適正な施設配置を検討する。

(3) 内陸部(根形地区・平川地区)の課題

- 耐震性未確認の吉野田保育所の対応が必要である。
- 地域子育て支援拠点の整備や、一時保育・休日保育の提供など、多様な子育てサービスの拡充を検討する。
- 定員一杯の児童を預かり可能とするため、保育士不足を解消する必要がある。
- 耐震化済の中川幼稚園及び平川保育所の有効活用を検討する。
- 将来的な人口動向を見据えた適正な施設規模を検討する。

(参考) 今後の取組の進め方

(1) 市立幼保施設のあり方に関する方針及び地区別整備計画のイメージ

市立幼保施設の今後のあり方に関する方針(案)

幼児教育・保育に関する基本的な考え方

- 質の高い教育・保育を受けることができる環境
- 幼児教育・保育ニーズ量の変化に対応するための選択
- 人員・財源・地域の状況を的確に捉えた配置

例



地区別整備計画の策定

(2) 幼児教育・保育施設のあり方検討のスケジュール

年度	令和2年度	令和3年度
市立幼保施設の今後のあり方に関する方針	現状及び課題の検討	市立幼保施設の今後のあり方に関する方針策定

民間認可保育施設の整備支援等の進捗状況について

令和2年12月21日 第3回子ども・子育て支援会議資料

令和2年度～3年度整備保育施設

- ① スクルドエンジェル保育園望海園
- ② アレッタ袖ヶ浦園
- ③ スクルドエンジェル保育園神納園
- ④ (仮称)スクルドエンジェル保育園袖ヶ浦園Ⅲ
- ⑤ (仮称)クニナ袖ヶ浦保育園



① スクルドエンジェル保育園望海園

- ・施設種別 認可保育所
- ・場所 袖ヶ浦市袖ヶ浦駅前2丁目
- ・整備運営事業者 (株)スクルドアンドカンパニー
- ・定員 76人
- ・開園予定時期 令和3年4月
- ・従前からの変更点 施設名称を「(仮称)スクルドエンジェル保育園袖ヶ浦認可園」から現在の名称に変更



① スクルドエンジェル保育園望海園

現況写真(R2.12.13)

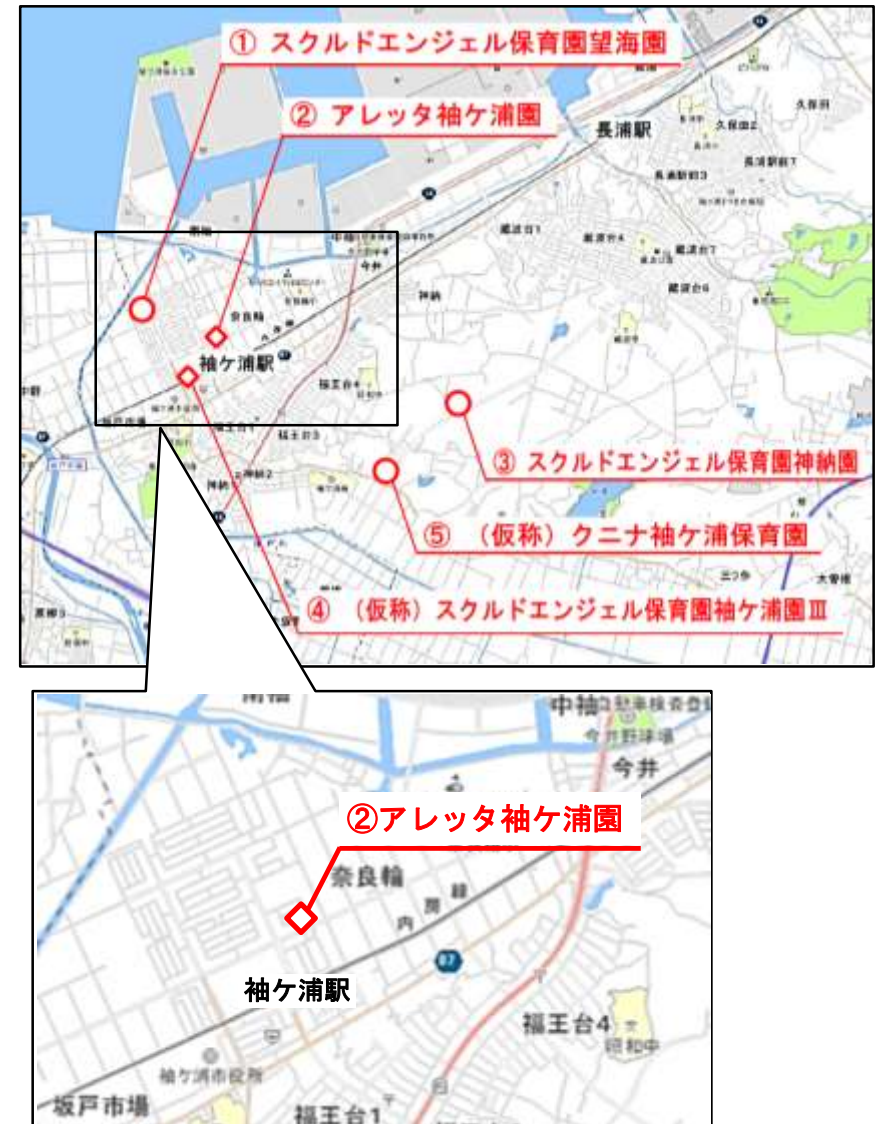


完成イメージ



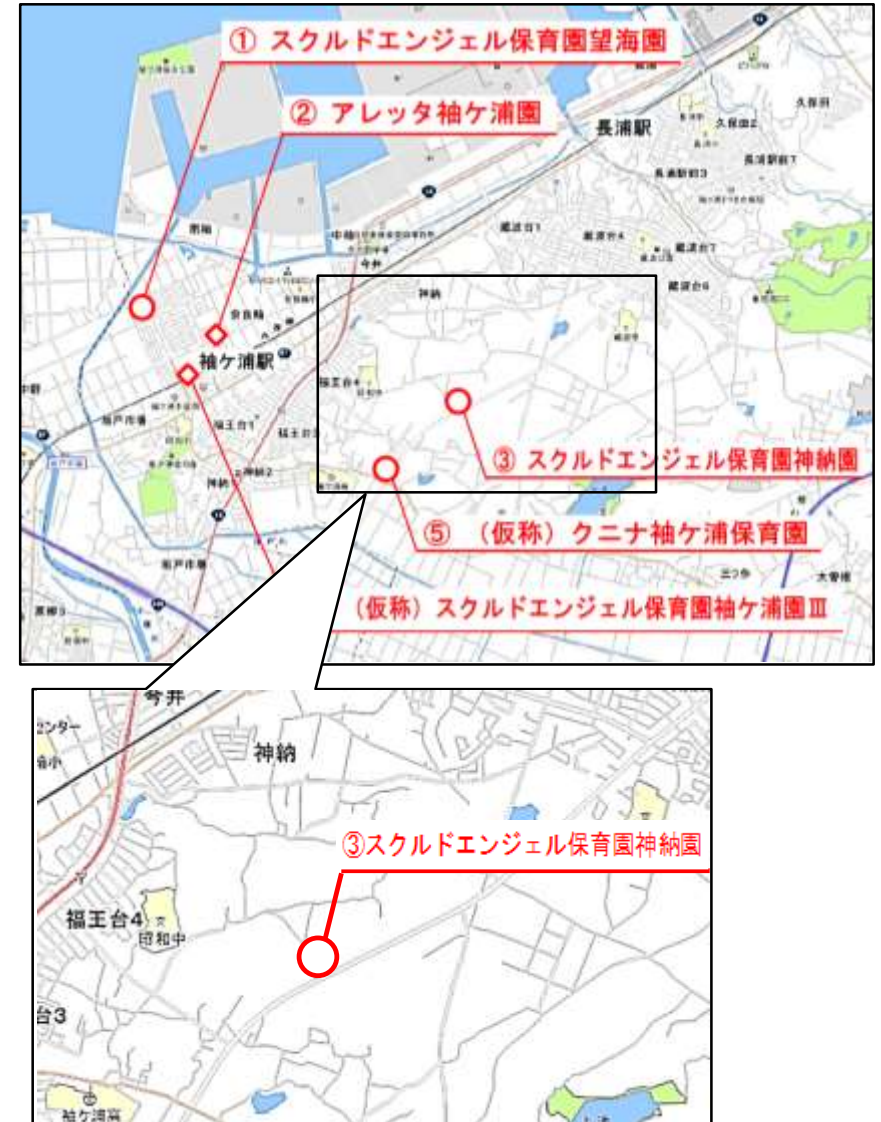
② アレッタ袖ヶ浦園

- ・施設種別 小規模保育事業所
- ・場所 袖ヶ浦市袖ヶ浦駅前1丁目
- ・整備運営事業者 (株)エテルノ
- ・定員 19人
- ・開園予定時期 令和3年10月
- ・従前からの変更点 開園予定時期を「令和3年4月」から「令和3年10月」に変更



③ スクルドエンジェル保育園神納園

- ・施設種別 認可保育所
- ・場所 袖ヶ浦市神納
- ・整備運営事業者 (株)スクルドアンドカンパニー
- ・定員 70人
- ・開園予定時期 令和3年9月
- ・従前からの変更点 施設名称を「(仮称)スクルドエンジェル保育園神納園」から現在の名称に変更
開園予定時期を「令和3年8月」から「令和3年9月」に変更



④（仮称）スクルドエンジェル保育園袖ヶ浦園Ⅲ

- ・施設種別 小規模保育事業所
- ・場所 袖ヶ浦市袖ヶ浦駅前1丁目
- ・整備運営事業者 (株)スクルドアンドカンパニー
- ・定員 19人
- ・開園予定時期 令和3年12月

※従前からの変更なし



⑤（仮称）クニナ袖ヶ浦保育園

- ・施設種別 認可保育所
- ・場所 袖ヶ浦市神納
- ・整備運営事業者（仮称）社会福祉法人 美咲会
- ・定員 130人
- ・開園予定時期 令和4年4月
- ・備考 7月から10月にかけて整備運営事業者を募集し、当該事業者に決定した。

